

多田 朋孔 ただ ともよし

活動地域：十日町市 支援可能な地域：全国どこでも可能

現在 特定非営利活動法人 十日町市地域おこし実行委員会事務局長

## アドバイザー可能な分野

- ・地域での起業
- ・集落・地域再生戦略

## 地域での活動

地域おこし協力隊員としての活動内容は大きく分けて

「①担当地域の飛渡地区合体での活動」と

「②居住集落内の団体である十日町市地域おこし実行委員会の運営」を行いました。

飛渡地区全体での活動では地域になじむために様々な行事に参加しました。

3年目には地域で直売の取温がスタートしたのでその運営にかなり深く関わりました。

具体的には商品の販売管理とお金の管理、生産管へのお金の支払い等です。約半年で100万円を超える売上がありました。また、3年目には同じく飛渡地区全体としてチャリティーで震災復興ととびたりフェスティバルを開催したのですが、この運営に関してもサポートさせていただきました。チャリティーの募金は18万円強集まり、これは全額市に寄付されました。

十日町市地域おこし実行委員会の運営では、任期終了後の現在も事務局長としてこの団体で勤務していますが、当時任意団体であったこの実行委員会をNPO法人化させるための手続きや関係者との調整を行いました。また、当実行委員会の取組をきちんと文字で整理して2つの賞に応募をしたところ、平成23年度には『地城づくり総務大臣表彰』を受賞し、平成24年度には『あしたのまち・くらしづくり活動賞』を受賞しました。

当実行委員会は私が地域おこし協力隊として来る前から地域ですでに素晴らしい活動をしていた団体だったのでその取り組みをまとめなおすだけで十分賞に値する内容がある団体ではありましたが、よそ者で文章を書いたり、パソコンなどの作業が得意な自分が支援をしたことでこの団体の素晴らしい取組がさらに広く認識されることが出来るようになったと思います。

十日町市地域おこし実行委員会をNPO法人化する際に、内閣府の助成事業でふるさと回帰支援センターが主催していた『農村六起ビジネスプランコンテスト』に応募して事業計画をプレゼンテーションしました。1回目のチャレンジでは残念ながら落選しましたが、2回目のリベンジでは見事に合格し、起業支援金200万円と、ふるさと起業家としての認定を頂きました。その他にも自らも

農家として4反歩の田んぼを耕作し、6羽の鳥骨鶏と約50羽の鶏を飼っていて十日町市地域おこし実行委員会の事業の一環としてお米や卵の直接販売もしました(現在も継続中です)。任期中の活動内容を市役所にも評価して頂いたからだと思いますが。私が事務局長を務めているNPO法人十日町市地域おこし実行委員会は現在市役所からの委託事業も受けるようになっております(移住促進基盤整備事業、緊急雇用での事業、中越大震災復興支援員設置事業)。また、現在、新潟県の人口問題対策会議において『暮らしやすさ・定住促進戦略チーム』の委員にも就任させて頂き、県・市とも協同しながら地域活性化に関する活動を継続しております。

## 自己PR 得意分野やアドバイザーの抱負

元々経営コンサルティング会社で働いていたのと、現在十日町市地域おこし実行委員会の事務局長として組織の退営を行っていますので、事案の立ち上げや経営に関して色々と役に立つアドバイス等は可能だと思います。また、なかなか動かない行政とのやり取りの中で粘り強く、かつ相手の担当の方と気持ちよく仕事出来る関係を構築するようなコミュニケーションについても自信があります。(協力隊員の中には行政と喧嘩腰になるようなコミュニケーションをとって関係が悪くなるケースも少なくないです。)だからこそ、任期が終了した後も行政から事業の委託を受けたり委員にも就任させて頂きいただいたのだと思います。

地域での活動は都会で会社の中で仕事を進めるのに比べると物事が遅々として進まないと思われるでしょうが、そういう環境の中でいかに地域の方に溶け込みながら周りを巻き込みながら取組を進めていくのかという事についても自信があります。